

給水温め器

④給水温め器...ボイラー内に炭水車の水を直接入れると、ボイラー内の温度が冷めてしまいます。これを防ぐために、ボイラーへ水を入れる前にあらかじめ水を温めておくためのものです。④給水温め器で温めると、水の温度は90℃～110℃になるそうです。水を温めるためには、①給水ポンプを動かした蒸気と空気圧縮機を動かした蒸気に、シリンダーからの排蒸気を合わせた3つの排蒸気が使われます。



罐逆止弁

⑤罐逆止弁...ボイラーへ入った水が逆流することを防止する弁です。①給水ポンプから送り出された水は、④給水温め器で温められてから、ボイラー(罐)に送られます。もちろん、給水する場合には、ボイラーの入り口のcockを開けておかないといけないのですが、ボイラー内へ水が貯まって給水を止めた場合、ボイラーの入り口のcockを閉めておかないと、ボイラー内の圧力でボイラー内の水がボイラー入り口から逆流してしまいます。⑤罐防止弁は、ボイラーへ入る水は流れるのですが、ボイラーからの逆流は自動的に止めるようにできているので、ボイラー内の水が④給水温め器、①給水ポンプに逆流することを防止するようになっています。



もし、この PDF の内容が良かった、と思われた方は、
ぜひ、『D51688 号パーフェクトブック』をお買い上げください。
1 冊 2000 円(フルカラー54 ページ)です。

ちょっとお高いですが、全てフルカラーの写真を入れたら、こうなってしまいました。

なお、パーフェクトブックの売上金は、D51688 号保存協力会の、研修費用等に
充てられます。

パーフェクトブックが現在販売されている場所は、
岡崎市南公園 交通広場、管理棟の 1 階窓口(木曜日は休園日)です。
または、月 1 回の管理清掃が行われているときに、清掃を行っている、保存協力
会員にお問い合わせをしていただいても結構です。

D51688 号機は、現在、愛知県岡崎市にある、岡崎市南公園 交通広場で、
静態展示が行われています。

もちろん、(休園日でも)柵の外からは、いつでも見ることは出来ますが、
月 1 度、第 2 日曜日の 9:00~11:00 の間に、管理清掃のために、柵が開けられま
すので、より近くで見ることが出来ますし、運転席内に入ることも出来ます。

南公園に来られた際のお土産としても「D51688 号パーフェクトブック」を、
ぜひ、どうぞ♪

※ぜひ、D51688 号に会いに来ていただきたいのですが、どうしても無理で、
パーフェクトブックを買っても良いよ、という方は、以下のメールでも受け付
けています(別途、送料・手数料がかかる場合があります)。

販売代行窓口：d51688-pb@azutelier.jp

このファイルを改変すること(特にこのページを切り離すこと)を禁じます。

©加藤あずき / D51688 号蒸気機関車保存協力会